

大阪市立水都国際 中学校・高等学校 をレポートします

大阪市立水都国際中学校・高等学校は、2019年4月に開校した全国初の公設民営の中高一貫校で、運営は大阪YMCAが行っています。国際バカロレアの候補校であり、2020年4月から国際バカロレアコースの開始(高校2年から開始)を予定しています。



スポーツフェスティバルの様子

国際バカロレアって何？

国際バカロレアとは、世界の複雑さに対処できる生徒を育成する国際的・総合的な教育プログラムです。生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を与え、大学進学へのルートを確認することを目的として設置されています。



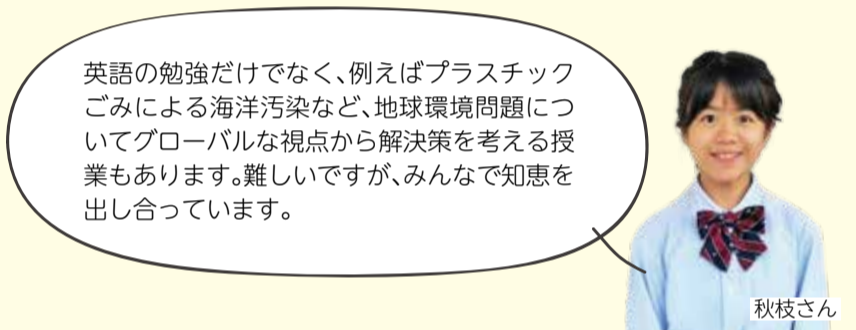
ボティン副校長

本校の授業は、常に生徒全員の参加を目指しています。教師が教室の前に立って教える従来の授業スタイルだけでなく、生徒をグループに分けて考えさせたりするアクティブラーニングを多く取り入れています。



國弘さん

将来の夢はNASAで働くことです！
そのために英語力を高めたいと思っています。また、国際バカロレア資格にも興味があったのでこの学校を選びました。



秋枝さん

英語の勉強だけでなく、例えばプラスチックごみによる海洋汚染など、地球環境問題についてグローバルな視点から解決策を考える授業もあります。難しいですが、みんなで知恵を出し合っています。

充実の 外国語教育！

中学校から初めて英語を学ぶ生徒も多いので、英語の授業では語彙(ごい)や文法の基礎、リスニングトレーニングなどを丁寧に指導し、生徒の英語力アップに努めています。

また、数学や理科などの授業も英語で行います。

中学校の数学は、日本語での補助を入れながら、学習指導要領に基づいて外国人教員が英語で授業を行います。

校内は英語の掲示物が多く、公立学校でありながらインターナショナルスクールのような雰囲気があります。



英語の授業の様子

多様な課外活動

部の立ち上げやその活動は、生徒からの提案をもとに行われています。現在20程度の部活動があり、環境問題、SNSプロジェクト、校歌作成プロジェクトなど、ユニークな活動が多く展開されています。



グローバル・ユース・カンファレンスの様子

夏休みにはYMCAのネットワークを生かした様々なプログラムが行われ、生徒は自分の希望に合わせて参加します。世界中から集まった100名前後の大学生と共に英語でディスカッションする模擬国連「グローバル・ユース・カンファレンス」などがあります。



白井さん

僕はレゴブロックが好きなので、友達と2人でレゴ部を企画して立ち上げました！先生たちにも協力いただき、楽しく活動しています！

YMCAとは…世界120の国と地域で活動している団体で、イギリスのロンドンで1844年に設立されました。現在では世界で6,500万人のメンバーが活動しています。大阪YMCAは1882年に設立されて以来、英語教育、幼児教育、青少年教育、社会教育、生涯学習など様々な分野で活動を展開しています。大阪市立水都国際中学校・高等学校はこのような世界的なネットワークと歴史の蓄積を持つ大阪YMCAのノウハウを生かして運営されています。

入学者選抜について

中学校 出願:12月26、27日
検査:適性検査Ⅰ・Ⅱ 1月25日、面接 1月26日
合格発表:2月1日

高等学校 出願:2月14、17日
検査:学力検査 2月20日、実技検査 2月21日
合格発表:3月2日

詳しくは
ホームページを
ご確認ください



大阪市立水都国際中学校・高等学校 住之江区南港中3-7-13
☎06-7662-9600(中学校) / ☎06-7662-9601(高等学校)



左ページのカナダ研修後の報告会に水都国際中学校・高等学校のボティン副校長先生にお越しいただき、英語でのやりとりを楽しみました。

このほか、区内他中学校の教職員の見学を積極的に受け入れるなど、他校との連携・交流を行っています。